



ていじせい 定時制の旋風

2024年 7月号

発行者 教頭 松本康一

県立小野工業高等学校 定時制課程

「やればできるの精神で」

この夏休み期間に、自分自身の計画を確実に実践していくためには、自分を「その気」にさせることが大切です。

江戸時代、米沢藩主(現在の山形県南東部にあたる所のお殿様)に上杉鷹山(うえずぎようざん)という人がいました。その上杉鷹山が家臣に示した歌に有名なものがあります。

「なせば成る。なさねば成らぬ、何事も。

成らぬは人の成さぬなりけり。」

この歌の意味は

「人間、やろうと思って行動すれば、必ず成功する。やらなければ成功することなど絶対にないし、何かを得るなどありえない。」

ということです。上杉鷹山はこの歌の中に、「何事も」という言葉を入れていることが注目すべきことなのです。「何事も」ということは、これは例外なく、どのようなことでも「なせば成る」と言っています。もう少し分かりやすい言葉にすると、

「やればできる。どんなことだって。やってみようじゃないか。自分の力はすごいものがあるんだ。」

と言っているのです。頭の良さでもなく、能力があるなしではなく、本気でやろうとするかどうかで、物事は決まると言っています。

さて、この夏を乗り切るために、自分を「やる気」の固まりに変身させて、この暑さを乗り切りたいと思います。「なせば成る。何事も」の「やればできるの精神」は大切です。自分をその気にさせて、自分の将来を見定めて、計画を実行していきましょう。たくましい精神力を身につけたみなさんと2学期に会えることを楽しみにしています。

学校行事

【生活体験発表会】 7月12日(金)

素朴さの中にも個性のある、強い思いのこもった素晴らしい発表会でした。優勝した1年生の神澤フトアキラ君と、準優勝の3年生レアンミン君は9月8日(日)に行われる、東播・淡路大会に本校代表として出場します。



【避難訓練】 7月16日(火)

避難訓練の後、小野市消防署の方より、平常時から危機管理意識を持つことの大切さについてお話を頂きました。また、消火器を使用した消火訓練も行いました。



【第1回地域清掃美化活動】 7月17日(水)

日頃、お世話になっている学校周辺の公園や通学路などの清掃活動と、校内の駐車場の整備を行いました。



【生徒指導講話 暴力団等反社会的勢力排除教室】

7月18日(木)

暴力団とはどんな存在か、なぜ青少年が狙われるのかを、暴力団追放兵庫県民センターの方から講義して頂きました。



【全国大会出場】

剣道部 男子団体の部 藤原大翔(1-A)

(8月5日 日本武道館にて)

(文責 教頭 松本 康一)